

日頃より、貫井・富士見台地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。区では本地区において、災害に強く、安全・安心で住みよいまちの実現に向けて取組を進めています。

このまちづくり通信は、地区のみなさまとまちづくりの情報を共有するために発行しており、今号では、以下の内容をお伝えします。

### 今号の 内容

- 1 防災まちづくりアンケートへのご協力のお願い
- 2 まちづくりの進捗報告
- 3 富士見台三・四丁目環八南地区地区計画等について

## 1 防災まちづくりアンケートへのご協力をお願いします。

当地区は、都心へのアクセスが良く、駅周辺には商店街が形成されるなど、生活利便性の高い地域です。一方、急速に市街化が進んだことにより、狭い道路が多く、公園やみどりが十分ではありません。また、**老朽化の進んだ木造住宅が密集しており、火災発生時に消防活動が困難な区域が5割を占めるなど、防災上の課題**を抱えています。

区では、災害に強いまちづくりを進めていくために平成23年度より「密集住宅市街地整備促進事業」を活用したまちづくりを行っています。今回は、ブロック塀の撤去や狭あい道路（幅員4m未満の道路）の拡幅など、重点的に取り組むべき箇所を把握し、それらの整備に対する助成の拡充などを検討する際の参考とするため、アンケート調査を実施します。

大変お手数をおかけしますが、アンケートへのご協力の程、よろしくお願いいたします。

なお、アンケート結果は、次号でご報告する予定です。

### ●対象者について

- ・当地区内にお住まいの方
- ・当地区内に土地や建物を所有されている方

### ●個人情報の取扱いについて

いただいたご回答は、個人情報に特定できないよう、統計的に処理、集計を行います。また、集計した情報は、調査の目的以外で使用することはありません。

### ●お伺いする内容

- ・当地区で大地震が起こった時に心配なこと
- ・自宅から避難拠点までの想定ルート
- ・想定ルートや地区内で防災上気になるところ
- ・防災上必要な今後の取組

アンケートは本まちづくり通信  
と同封しています！  
回答方法や提出方法については  
アンケートをご確認ください。



## 2 まちづくりが進んでいます！

貫井・富士見台地区については、防災性の向上が必要な地域が多く残されている状況にあることから、引き続き災害に強く、安全・安心で住みよいまちの実現を目指した取組を進めます。

### 道路整備の推進

#### (ア) 生活幹線道路 A 路線（四商通り）

現在の用地取得率は北側区間が約8割、南側区間が約3割であり、今年度も引き続き用地取得を進めています。整備にあたっては電線の地中化を予定しています。

#### (イ) 主要生活道路1号線

令和3年度に事業着手し、今年度も引き続き用地取得を進めています。現在の用地取得率は約2割です。

#### (ウ) 駅前広場

富士見台駅北側において一般車両やタクシー等の乗り入れが可能な交通広場の整備を予定しています。昨年度より事業着手し、今年度も引き続き検討していきます。



### 地区施設（公園・道路）の整備

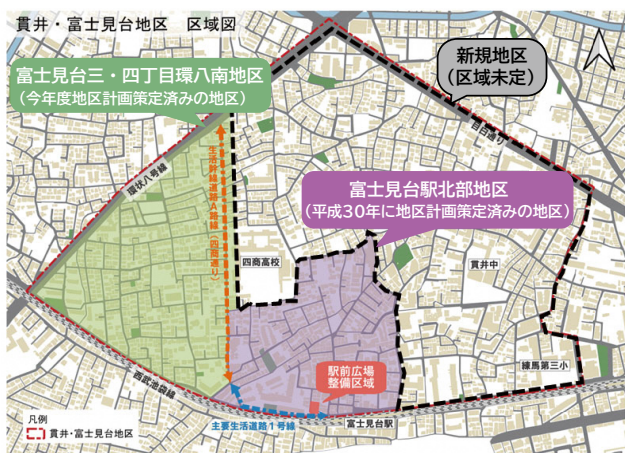
貫井3丁目の生産緑地を取得しました。今後、公園および道路として整備していきます。

公園整備の際には、地域の皆様の意見を伺いながら計画を進めていきます。



公園・道路整備区域  
(現況写真)

## 3 富士見台三・四丁目環八南地区地区計画等が都市計画決定しました！



富士見台三・四丁目環八南地区では、防災上の課題に対応したまちづくりを進めるため、地区計画等の策定に向けて令和2年9月から検討を進めてきました。

地区計画等は、地域の皆様に向けた公告・縦覧、意見書の受付、区・都の都市計画審議会等を経て、令和5年6月19日に都市計画決定しました。なお、新たな防火規制区域は今年度の秋ごろに指定される予定です。

今後は、新規地区の地区計画等の策定について引き続き検討をしていきます。

お問合せ先

練馬区 都市整備部

防災まちづくり課 貫井・富士見台地区担当

〒176-8501 練馬区豊玉北六丁目12番1号

☎ 03-5984-1429（直通）

FAX 03-5984-1225

✉ BOUMACHI03@city.nerima.tokyo.jp

ポウマチゼロサン

貫井・富士見台地区のまちづくりについては、区のホームページでも紹介しています！

貫井・富士見台地区



URL <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/nukui-hujimidai.html>



問4 防災上気になることや心配なこととして挙げた内容を踏まえて、今後どのような取組が必要だと思いますか。(該当するもの全てに○)

1. 4m未満の道路の拡幅整備
2. 災害時に円滑な消防活動ができるような幅員6m以上の道路の整備
3. 災害時に避難できる公園などのオープンスペースの確保
4. 行き止まりの解消による安全な避難路の整備
5. 個々の建物の不燃化(燃えにくいまちにする)の促進
6. 建物が密集していることの解消(建て詰まりの防止)
7. 建替え困難な敷地に対する共同・協調建替え等の検討
8. 危険なブロック塀等の撤去などに関する助成制度の周知
9. 消火栓や防火水槽などの消防水利の設置
10. 防災資機材の設置や防災訓練の充実
11. 防災まちづくりを広め、防災意識を向上させるような啓発活動
12. その他 (具体的に )

問5 あなたご自身についてお尋ねします。(該当するもの全てに○)

【年代】 1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代  
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

【世帯構成】 1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯世帯(親と子) 4. 三世帯世帯(親と子と孫)  
5. その他 ( )

【権利状況】 1. 土地・建物を所有 2. 土地を所有 3. 建物を所有 4. どちらも所有していない

防災まちづくりについてのお考えやご意見等をご自由にご記入ください。

---



---



---



---



---

アンケートは以上になります。ご協力いただきありがとうございました。

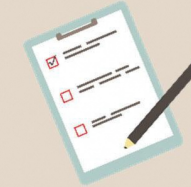
## 貫井・富士見台地区 防災まちづくりアンケート (回答用紙)

アンケート調査へのご協力をお願い

アンケートは、5つの設問と自由記入欄で構成されています。  
すべてにご回答いただき、**令和5年9月29日(金)まで**に下記のいずれかの方法でご返信をお願いいたします。

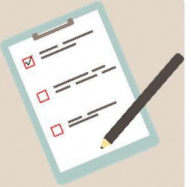
郵送で返信

- ① アンケートに記入
- ② アンケート用紙を折って  
同封の返信用封筒に入れる
- ③ ポストに投函(切手不要)



メールで返信

- ① アンケートに記入
- ② アンケート用紙の両面の写真を  
撮影またはスキャン
- ③ お問い合わせ先のメールアドレスに  
写真またはPDFを添付して、  
件名『貫井富士見台アンケート』  
で送付



注意  
事項

- ・ 回答を記入する際は、**赤色のペン**などの**はっきり見えるもの**をご使用ください。
- ・ 写真を送る際は、手ブレ等で不鮮明にならないようにご確認ください。不鮮明な場合は、再度お送りいただくようお願いすることがあります。
- ・ メールで送付できるファイルサイズは**1.0MB**までになります。



二次元コード

お問い合わせ

練馬区都市整備部防災まちづくり課 (本庁舎15階) E-mail: BOUMACHI03@city.nerima.tokyo.jp  
〒176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号 電話: 03-5984-1429 (直通) FAX: 03-5984-1225

問1 はじめに、お住いのエリアを教えてください。

1. 貫井\_\_\_\_\_丁目\_\_\_\_\_番地
2. 富士見台\_\_\_\_\_丁目\_\_\_\_\_番地
3. 地区外

問2 当地区について、「大地震が起こった時に心配なこと」はありますか。  
(該当するものすべてに○)

1. 道がふさがること
2. 近くに逃げられる学校や空き地等がないこと
3. 塀が倒れること
4. 火災が発生すること
5. 建物が倒れること
6. 近所の助け合いに不安があること
7. 消防車や救急車等が入ってこれないこと
8. 自宅の災害時の備えが十分でないこと
9. その他 ( )

問3 あなたの想定する避難経路等について、「プロローグ」をご一読いただき(1)(2)にご回答ください。

【プロローグ】

現在は、20××年〇月〇日の夜10時です。突然震度6弱の大地震が起こり、我が家は、家全体がギシギシと音を立てて揺れました。

ラジオをつけると余震や火災の発生に十分警戒するよう呼びかけています。しばらくするとサイレンの音が聞こえてきました。

今後の地震や二次災害の恐れから、自宅での安全確保に不安を感じたため、あなたは避難拠点到避難することにしました。

(1) あなたが避難する際に想定する避難拠点(※1)に○をしてください。

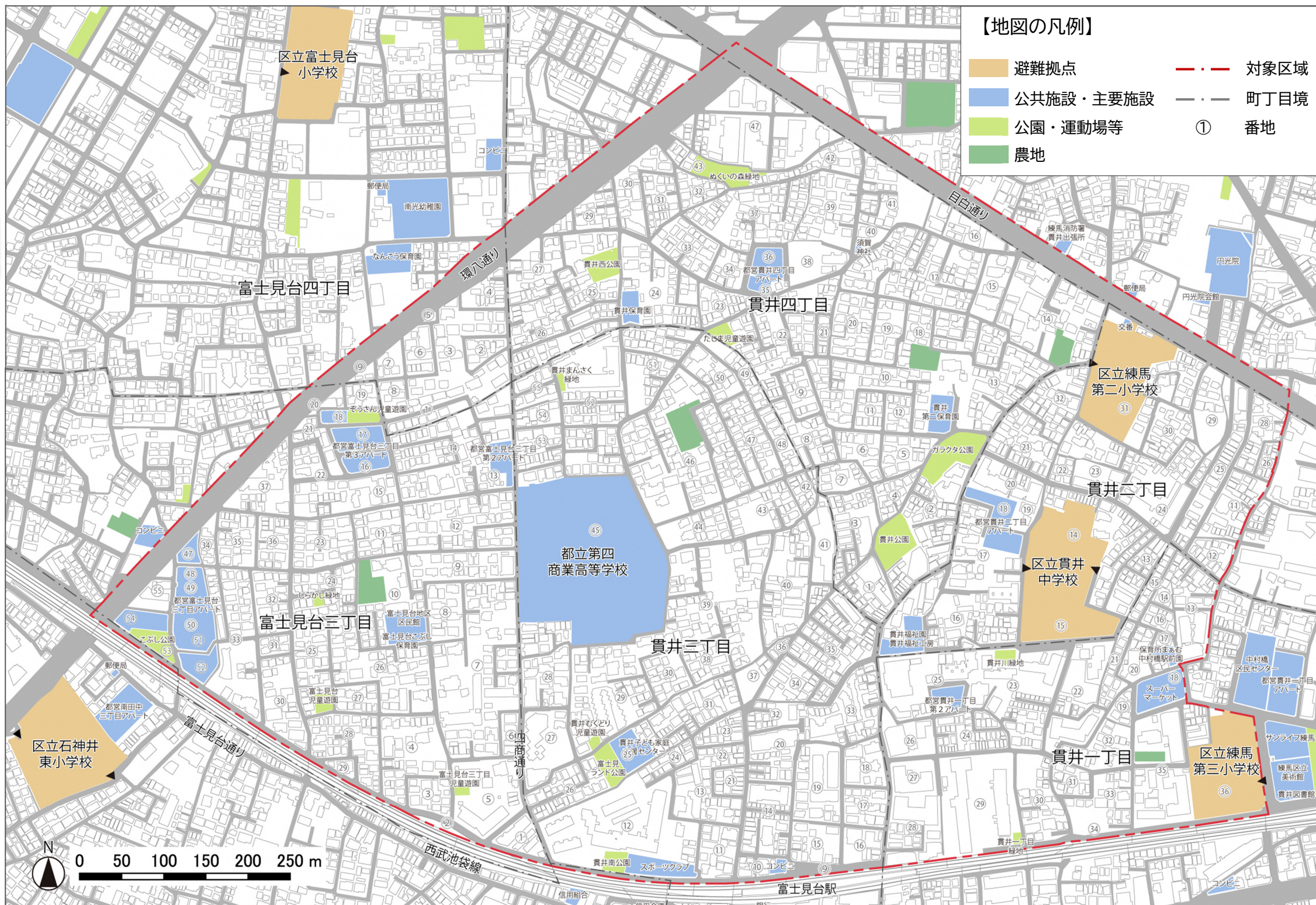
1. 練馬第三小学校
2. 練馬第二小学校
3. 石神井東小学校
4. 貫井中学校
5. 富士見台小学校

(2) 右の地図に以下の内容をご記入ください。

- ① 自宅から避難拠点までの想定ルート  
※赤色のペンなどはっきり見えるものをご使用ください。
- ② 想定ルート上や地区内で防災上気になること

例えば、

- ◆ 高いブロック塀が倒れそうなところ
  - ◆ 道が狭く、緊急車両等がすれ違えないところ
  - ◆ よく車が停まっていて車両が通行しづらいところ
  - ◆ 看板や窓ガラスなど落下物が心配なところ
  - ◆ 夜だと暗くて歩きにくいところ
  - ◆ 雨で水たまりがでやすいところ
  - ◆ 行き止まりが不便なところ
  - ◆ 見通しの悪い交差点
  - ◆ 空き家が心配なところ
  - ◆ 地震時に火災が心配なところ
- など



【記入例】

【質問①】  
想定ルート

【質問②】  
防災上気  
になること



災害時は、がれきなどにより道路が塞がれることで通行できない可能性があります。そのため、可能であれば複数のルートを考えてみてください。



(※1) 避難拠点とは

避難拠点は、大地震のときに地域活動の拠点・避難所となる場所です。練馬区立の小・中学校 98校を位置付けています。避難する場合は居住地等による指定はなく、どの避難拠点到避難してもよいこととなっています。



災害時に開いている校門